

令和2年8月24日

未来への扉 13

校長 平野 雅仁

今日から2学期が始まります。夏季休業中は、部活動や補習教室に通う姿に「凜とした」橋中生を感じていました。今後も感染症対策や熱中症予防等、注意が必要となります。引き続き、検温をして健康観察に心がけてください。

さて、先日、プロフェッショナル仕事の流儀「石川佳純スペシャル」を見ました。卓球の石川佳純選手は、2012年ロンドン大会〈団体銀・シングルス4位〉2016年リオデジャネイロ大会〈団体銅・初戦敗退〉に出場しました。

番組では、「どういう風に強い精神力を鍛えるのですか」という質問に、石川選手は、「いやなことをやる。」例えば「走るとか」「部屋の片づけとか、苦手なことをやる」と答えていました。

また、試合では「勇気を出した方が勝ち」「日々変わらなければ明日はない」という言葉が印象的でした。長いトンネルに入って、なかなか勝てないと人は守りに入ります。崖っぷちに立たされた石川選手は、今までの自分のスタイルにこだわることなく、攻める姿勢、気持ちを引かないという勇気で20代半ばから筋力強化にも努めました。苦手なサーブを繰り返し練習し、高速卓球の平野美宇選手には、少し長めのサーブを打って攻め勝ち、東京五輪大会シングルス代表の2名枠に残りました。

そして、最後に「東京五輪が延期になった瞬間に何を思いましたか」という質問に「一瞬びっくりしたが、卓球や自分自身を見つめなおす時間になりました。やはり自分にとって卓球は大切なものであり、好きなんだということが再確認できました」と、かえって延期されたことをポジティブにとらえ、最近楽しく練習ができていると答えていました。7歳から卓球をはじめ、20年。「もうこわいものはない。どんな夢を見に行こうか」と、これからの活躍がますます楽しみです。

皆さんには、2学期を一年の中でもっとも成長し、実りある学期にしてほしいと願っています。3年生にとっては、部活動の引退も近づいてきていますが、今までお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに最後の大会も頑張ってください。また、1・2年生にとっては、上級生から良いところをたくさん引き継いでもらいたいと思います。それでは、2学期も頑張りましょう。

(2学期始業式の挨拶から)